

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組： 瀧島 ） （2 組： 瀧島 ） （3 組： 瀧島 ） （4 組： 瀧島 ） （5 組： 瀧島 ）

使用教科書：（ 光村図書出版株式会社 美術 2 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】芸術Ⅰで身につけた基礎的・基本的な知識をもとに、技術的な応用を芸術に生かすことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】芸術Ⅰの授業で得た知識や技能を用い、自らの力で判断し、改善しながら表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】どのようなジャンルにおいても積極的に取り組み、表現する楽しさを体験させ、生涯において芸術を味わう感性を養う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術Ⅰで身につけた基礎的・基本的な知識をもとに、技術的な応用を芸術に生かすことができる。	美術Ⅰの授業で得た知識や技能を用い、自らの力で判断し、改善しながら表現することができる。	どのようなジャンルにおいても積極的に取り組み、表現する楽しさを体験させ、生涯において芸術を味わう感性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 色鉛筆による表現を通して、様々な色は無限に再現可能であることを知り自分の表現方法に生かす 【思考力、判断力、表現力等】 写真を観察することにより、モノの特徴を理解し表現する 【学びに向かう力、人間性等】 一つの画材から様々な表現方法のあることを自ら調べ理解する	<絵画> ・ フォトリアリズム	【知識・技能】 色鉛筆による表現を通して、様々な色は無限に再現可能であることを知り自分の表現方法に生かすことができる 【思考・判断・表現】 写真を観察することにより、モノの特徴を理解し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 画材のする意を知り、それぞれの特徴を生かした様々な表現方法のあることを自ら調べ実践することができる	○	○	○	18
	B 単元 【知識及び技能】 モチーフの特徴を捉えデザインする 【思考力、判断力、表現力等】 伝えたい事柄を簡略化し、表現したいことをデザイン化し表現する 【学びに向かう力、人間性等】 1964年の東京オリンピックから採用され、全世界に広がったことを学び、多様性社会に対応できる力を養わせる	<平面デザイン> ・ ビクトグラム	【知識・技能】 モチーフの特徴を捉えデザインすることができる 【思考・判断・表現】 伝えたい事柄を簡略化し、表現したいことをデザイン化し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 1964年の東京オリンピックから採用され全世界に広がったことを学び、多様性社会に対応できるように取り組んだ	○	○	○	8
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 世の中に出回っている商品のデザインについて調べ、どのような意図をもって制作されたかを知る 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ設定をしっかりと行い、マーケティング等のデータ活用的重要性に気付かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 購入ターゲット層によって表現方法の違いがあることを理解し社会の流れを意識する	<立体デザイン> ・ パッケージデザイン（牛乳パックまたはショッピングバッグ）	【知識・技能】 商品デザインについて調べ制作意図を推測することができる 【思考・判断・表現】 テーマやターゲットを明確にしマーケティングによるデータの重要性を理解し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 購入ターゲット層によって表現方法の違いがあることを理解し社会の流れを意識しながらデザインすることができる	○	○	○	18
	D 単元 【知識及び技能】 言葉の壁を越えて理解できる絵模様としての機能を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 何を表現するのかを明確にし、モチーフを単純化することで理解させる 【学びに向かう力、人間性等】 世界中に広がっているビクトグラムについて役割を理解し発信する	<レタリング> ・ タイポグラフィ <石 彫> ・ 篆刻	【知識・技能】 言葉ではなく形から読み取れる単純化したデザインを理解し制作することができる 【思考・判断・表現】 モチーフを単純化することでストレートにイメージが伝わる作品の表現ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 世界中に広がっているビクトグラムについて役割を理解し発信することができる	○	○	○	10
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 篆刻の仕組みを理解し作品制作に生かす 【思考力、判断力、表現力等】 文字を彫ることを踏まえデザインする 持ち手のデザインを考え効率よく制作し表現する 【学びに向かう力、人間性等】 文字と持ち手のバランスを工夫し試行錯誤をしながら作品を完成させる	<石 彫> ・ 篆刻	【知識・技能】 篆刻の仕組みを理解し作品制作に生かすことができる 【思考・判断・表現】 文字を彫ることを踏まえデザインする 持ち手のデザインを考え効率よく制作し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 文字と持ち手のバランスを工夫し試行錯誤をしながら作品を完成させることができる	○	○	○	16
							合計
							70